

的形町にメガソーラー

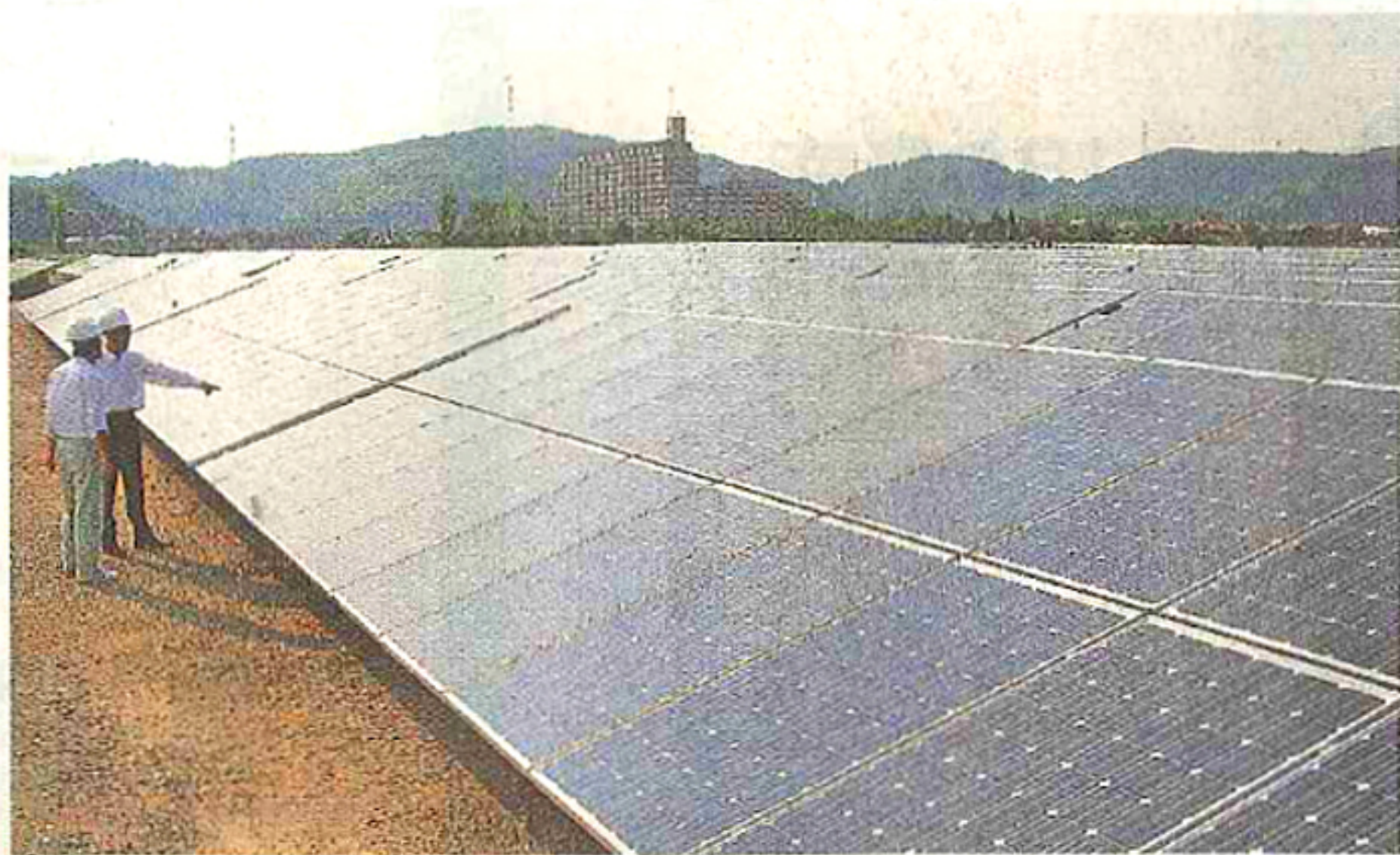
市内初、600世帯分の発電量

水質や土壌の浄化を手掛ける環境エンジニアリング会社「アステック」(姫路市岩端町)が、姫路市的形町の形に大規模太陽光発電施設(メガソーラー)の設置を進めている。出力2メガワット(1990キロワット)で、施設名称は「サンエナジー姫路」。2013年1月の本格稼働を目指している。姫路市によると、市内でのメガソーラーは初めてという。

(田中陽二)

来年1月に本格稼働へ

設置場所は大的中学校西側に広がる塩田跡地。約4万2千平方メートルを土地所有者から賃借りし、縦1・6メートル、横1メートルの太陽光パネルを8512枚並べる。発電量は、年間約250万キロワット時を見込み、再生可能エネルギーの「固定価格買い取り制度」を利用して関西電力に売電。一般家庭約600世帯分を賄えるほか、二酸化炭素も推計で年間800ト削減できるという。



設置作業が進む姫路市内初のメガソーラー＝姫路市的形町の形的

環境関連が本業とあって、「太陽光発電には東日本大震災前から着目していた」と森本一生社長(38)。地域貢献につながることもあり、事業化を決めた。エネルギー問題への関心を高めてもらうため、稼働後は市民向けの見学会なども検討している。

森本社長は「市内にはほかにも太陽光発電に適した土地が多い。発電実績を検証し、第2、第3のメガソーラー建設も考えていきたい」としている。